

2023/11/24 (金)

創立136周年記念

聖書 ルカによる福音書 10章 25-37節 (新約 126頁)

すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」

### 平和へのシンボル

創立136周年を迎え、神様のみ守りと導きに感謝を献げましょう。またこの一年に神様のみもとへ旅立たれたご家族、卒業生、教職員、英和関係者の方々の魂の平安と、残された方々に神様の慰めを祈りましょう。そして世界各地の紛争、特にパレスチナガザにいる子どもたちのために祈りましょう。(しばらく黙祷しましょう)

皆さんはノアの洪水を知っていますか。神様が地上に悪が広がり人間を造ったことを後悔し洪水を起こしたお話です。ノアの家族と動物たちは箱船に入り助かります。四十日四十夜の後に雨は止み、ハトがオリーブの葉を口にくわえて帰って来たので地上が現れたとわかります。そして神様は空に七色の虹を架けて二度と滅ぼすことはしないと仰いました。

こうしてオリーブの葉を口にくわえたハト、また虹は平和のシンボル、さらに現代は多様性のシンボルにもなっています。実は英和女学院の学年カラーである紫、黄、青、橙、緑、赤は虹の色からできています。光の波長の短い紫から赤へ向かって寒色と暖色が交互に連なり、セーラー服の藍色を加え、まさに英和生のひとり一人が虹、平和のシンボルです。

昨年、英和は制服制定百周年も迎えました。日本で最も古い制服と言われています。制服に憧れ、先輩たちに憧れ、夏服はとても凜々しく、機能的です。制服と学年カラーに込められた平和への祈りを、これからも後輩へと受け継いで下さい。英和生の存在そのものが平和への祈りです。神様がどんな時も忘れない、共にいるという平和のシンボルです。

(黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたは昔、カニングハム宣教師によき志を与え、この西草深の地に「静岡女学校」を設立されました。あなたの深い摂理に感謝します。しかしこれまでの歩みには聖書を読み、礼拝を献げることが禁じられた時もあり、また戦時中の静岡大空襲では校舎が全焼しました。戦後、再び同窓生はじめ海外の宣教師、信徒の方々の篤い祈りとお支えによって英和女学院は復興しました。そして、今、世界の人たちと共に、わたしたちは新たな困難と向き合っています。どうか日々悲しみに耐え祈る方々と共にひとときでも早く平和な時を迎えることができますように。この言い尽くせない感謝と願い、尊き主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン